

人を接ぎ、人が集まり 仲間と始める まちづくり

まちづくりに興味・関心を持つ仲間が集まり、学び、活動する「かわまたまちラボ（以下『まちラボ』代表：酒井茉莉さん・木暮典子さん）」。まちラボはそれぞれ活動していた人と人を繋ぎ、今、その活動が大きな花を咲かせようとしています。



かわまたまちラボ代表
酒井 茉莉 さん

昨年、川俣町移住定住推進委員に就任したことをきっかけに「町外の人が『住みたい』と思う町はどんな町だろう」と深く考えるようになったという酒井さん。「友人にこの町での暮らしについて訊ねると『何もないまち』という返事があつたんです。そこでまず『今、町に住んでいる人の意識が変わらなければ人を呼び込むことはできない』と考えました」と酒井さんは話します。酒井さんは町内にまちづくりの専門家を招き、勉強会やワークショップを開催。そういったまちづくり活動が続けるうちに同じように町の暮らしを豊かにしたいという仲間が集まり「かわまたまちラボ」が結成されました。

かわまたまちラボ結成

- Interview -



ひろゆき
寺島 寛之 さん

もともと写真が好きだった私は祖父の持ち家を再利用して暗室やスタジオを作り「写真が好きな人たちとシェアできたら」と考えていました。そんな時 SNS でまちラボの活動を見かけ、活動内容に深く共感し参加を決めました。私は「まち＝人」だと思っています。「まち」を盛り上げるためにまずは川俣町で活動している「人」たちとまちラボを含め自分たちが盛り上げるように活動したいです。



みゆき
藤野 美由希 さん

まちラボには自分の考えた企画やワークショップに賛同してくれる人や背中を押して一歩踏み出すことを応援してくれる人がいて、自分だけではできなかったことがまちラボに入りたくさん実現できました。川俣町に移住してきてから自分が関わってる羽山の森美術館の運営でも、福沢地域の皆さんとコミュニケーションを取りながら自分の考えるまちづくりを実現していきたいと思います。



みつ お さち こ
北村 光生 さん 幸子 さん

妻がまちラボ主催の街歩きイベントを SNS で見つけて参加したのがきっかけでメンバーとして活動しています。イベントを通して川俣町の魅力を知っていくなかで、私たちのように川俣町を好きになるような企画を何か開催できないか模索中です。今年の秋から習い始めたケーナの演奏会や銀座ミツバチプロジェクトとも交流のある川俣町で「まちラボ養蜂部」を立ち上げたいと考えています。

まちラボで繋がったメンバーは、各々の活動をサポートしたり新規イベントを開催したりするなどその動きは拡大しつつあります。「最初は小さな芽しか出せないかもしれませんが。でもまちラボでできた繋がりが1人ではできなかったことも恐れず踏み出すことができる。そうやっていつしか『誰もが暮らしたいまち』という大きな花を咲かせられたら嬉しいです」と酒井さんは話します。

繋がり広がる活動



かわたまちラボ
インスタグラム
公式アカウント

1. 高橋家住宅の縁側に集まるまちラボメンバー 2. イベントで使用する屋台をDIYで制作 3. 親子イベント時には屋食の配膳を行った 4. 定期的に自分たちで作った野菜などで食事会を開催



まちづくりは学びから実践へ

今後の活動について酒井さんに尋ねると「この1年間、まちラボや参加者の皆さんととにかくまちづくりについて学ぶ機会をたくさん作りました。来年は、各々が描くまちづくりを形にする年にしたいです。この町で暮らす人が『何もなし』という思い込みをしない暮らしを作るために町に暮らす人を繋ぎ、共感できる仲間と共に、住民によるまちづくりを進めていきたいです」と力強く話します。